

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 講師
氏名 Name	池田一人
専門分野 Academic Field	ビルマ史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ビルマのカレンをめぐる民族形成過程と民族問題の起源に関する研究
<p>平成 26 年度冒頭の研究計画書において策定した研究テーマは、第一にビルマ社会の主流派が依拠する歴史観（タキン史観）によって偏向してきてとらえられてきたビルマ民族問題の起源に関する歴史理解を、カレン民族問題を事例に実証的に乗り越えて、新たな歴史像を提示する研究を行うことであった。</p> <p>この研究テーマについては 3 つの課題を設定し、とくに第 1 の課題（タキン史観の流布・作用過程の解明）に労力と資源を注いだ。平成 26 年 4 月に学会報告、9 月の現地調査で補足的な史資料収集を行い、論文の執筆が最終段階に至っている。第 2 の課題（1950 年代前後のカレン問題展開の精査）については、カレン州設立をめぐる政治に関する行政文書を中心とした一次史料の収集が、現地調査を通して進展している。第 3 の課題（英国植民地政府による民族優遇政策の実態解明）は、来年度予定の英国での史料調査を見据えて二次資料収集と検討の段階にある。</p> <p>年度冒頭に設定した第二の研究テーマは、19 世紀から 20 世紀前半のビルマにおける「民族」という社会単位の発現過程を、カレンとビルマ民族を事例に解明する歴史研究であった。具体的には、19 世紀王朝下の「民族」観念を論じうる素材を現地調査を通して収集している段階である。</p>	